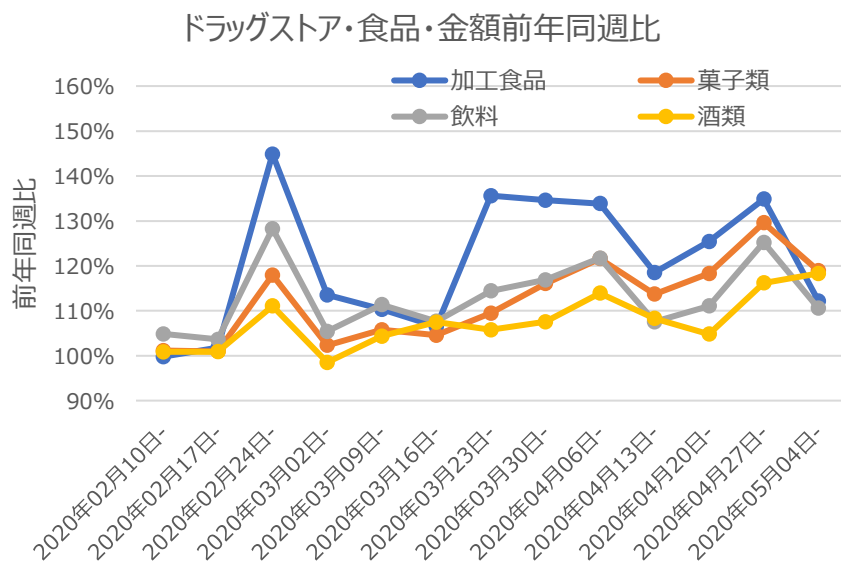


ドラッグストアの食品POSデータ提供をはじめて1年が経ちました。食品スーパーとの違いを含めてドラッグストアの販売情報を定期的に、お伝えしていこうと思います。

## 【トピックス】

新型コロナウイルス感染予防による在宅需要の高まりにより、ドラッグストアでも食品販売金額は前年同週を大きく上回っている。初期の段階では、加工食品を中心に売上の伸長が見られたが、長期化とともに菓子などにも購買対象が拡大し、連休に入り酒類の売上が上がってきている。酒類では、ウィスキーや果実酒の伸びが大きいものの、上位のカテゴリーはいずれもコンスタントに前年を上回っている。この他、甘味果実酒はRTD商品の新発売による効果で前年の4.5倍であった。



2020年05月04日-

細分類名称	構成比	金額 前年同週比
リキュール類	29.1%	122%
ビール	16.5%	128%
焼酎乙類	12.0%	112%
スピリッツ	9.6%	122%
焼酎甲類	6.9%	114%
発泡酒	6.4%	97%
清酒	5.1%	109%
ウィスキー	5.3%	139%
その他雑酒	4.7%	102%
果実酒	3.7%	138%

## ドラッグストアと食品スーパーの商品構成の違いを確認する【酒類 #1】

（新型コロナウイルス関連消費の影響を除くため、昨年10月から12月のデータを使用）

- ドラッグストアでは、リキュール類への集中度が高いこと、焼酎乙類の構成比が食品スーパーに比べて大きいことが特徴的です。（清酒、果実酒など多品種の品揃えが必要な商品は構成が小さい）
- 焼酎乙類では、上位メーカーへの集中度が高く、効率的な販売の様子が窺えます。  
（アイテムでも同様の傾向） 参考：焼酎甲類では、食品スーパーと同様に上位4社のシェアが高い

【食品SM】  
アルコール飲料内構成比

No	細分類名称	金額 構成比
1	リキュール類	22.6
2	ビール	20.2
3	清酒	11.9
4	焼酎乙類	8.6
5	果実酒	7.6
6	スピリッツ	7.0
7	発泡酒	6.6
8	焼酎甲類	5.7
9	ウイスキー	4.6
10	その他雑酒	3.8

【ドラッグストア】  
アルコール飲料内構成比

No	細分類名称	金額 構成比
1	リキュール類	25.8
2	ビール	16.4
3	焼酎乙類	13.2
4	スピリッツ	9.0
5	発泡酒	7.7
6	清酒	7.3
7	焼酎甲類	6.9
8	その他雑酒	5.1
9	ウイスキー	4.6
10	果実酒	3.4

焼酎乙類メーカーシェア

	ドラッグ ストア
霧島酒造	31.1
三和酒類	25.1
雲海酒造	6.5
福德長酒類	5.0
薩摩酒造	4.3

食品SM

霧島酒造	27.0
三和酒類	18.7
福德長酒類	6.1
雲海酒造	5.9
濱田酒造	3.6



## ドラッグストア食品 概要



約**380**店舗



食品データ**全て**

ドラッグストアPOS先行ユーザー様の声  
提案に厚みが出ました!

KSP-SP営業担当まで、お問い合わせください

## <店舗>

- ◆収集対象店舗 食品扱い比率の高いドラッグストア  
(概ね食品比率25%以上の店舗が対象)
- ◆提供店舗数 2020年4月:約380店舗
- ◆エリア区分 全国(エリアデータ提供準備中)

## <ご提供方法>

- ◆定期契約(KSPワイド ドラッグストア食品)  
自由に食品実績を検索いただけます 月額5万円+諸費用(要年間契約)
- ◆スポットデータ(KSP-POS データ提供)  
ご要望に応じてデータをご提供いたします 10万円~

詳細は弊社営業担当までお問い合わせください

お問合せは  
こちら

食品スーパーマーケット、ドラッグストアの食品POSデータなら、弊社にお問合せください。スポットでの提供も可能です。

お問合せダイヤル :03-5472-7652

mail : ksp-info@ksp-sp.jp

株式会社KSP-SP 〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-1 No.R浜松町 4F